



富士見丘だより

No.2 令和4年4月28日
昭島市立富士見丘小学校
校長 稲垣 達也



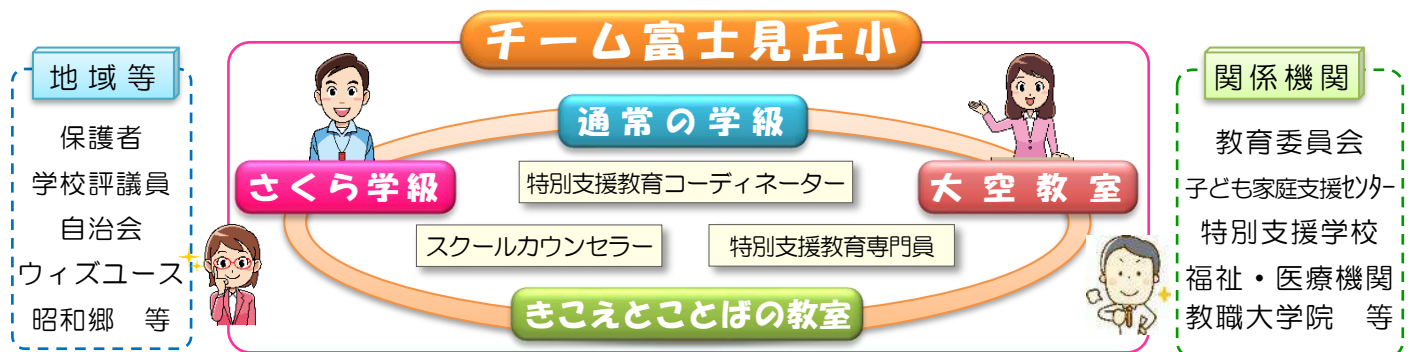
すべての子供たちのために！！



富士見丘小学校の 特別支援教育

笑顔いっぱいの学校生活を子供たちが満喫した4月でした。保護者の皆様とご理解とご協力に感謝申し上げます。G.W.明けの5月も安全・安心を第一の学校としてまいります。

そのためにも、本校では、すべて子が掛け替えのない『特別な存在』と捉えています。児童理解に基づき、個に応じた「特別な教育」、「特別な支援」を大切にしています。特別支援は、教育の根幹をなすものです。年度のはじめに、本校のリーフレット「[富士見丘小学校 特別支援教育](#)」を今一度ご確認ください、ご心配事などがあれば、遠慮なくご相談ください。



Question 一見、自分勝手、我がままに見えますが…

■ 支援を求めている子供は、心の中でこんな言葉をつぶやいています。

分かっていて思わずやってしまう。叱られてばかりだよ。

ムズムズしてどうしても体が動いちゃうよ。

何かくわえていないと落ち着かないよ。

いつもと違うことはどうも苦手だなあ。

言われていることがよく分からないけど、分かったふりをおこつ。

つい夢中になっちゃう。でも、私のペースもわかってほしいな。

本当のことを言っただけなのに、みんな怒っちゃう。

「相手の立場になる」って、どういうことなのかなあ。

■ よく見てみると、このような特徴が浮かび上がります。

感情や行動のコントロールが難しい

こだわりが強く、新しい経験を受け入れにくい

自己中心的、わがままに見える

ことばに表されない意図や場の雰囲気を読み取るのが難しい

これは、ご家庭の教育やしつけの問題ではありません

Answer 支援を始めると必ず子供は変わります！

Step 1 子供の様子を丁寧に見ることから始めます

一斉指導の中では学習や生活、友達との関わりがうまくいかない子供がいます。このような様子が見られる子供には、教室の中での一斉指導を窮屈に感じ、全体の指示についていけなかったり、席を離れたり、友達に手を出したりしてしまうこともあります。その時に教員は、「どうしてかな?」「何に困っているのかな?」と、子供が出している様々なサインへの気付きを大切にし、校内で情報を交流しながら様子を丁寧に見ることから始めています。



複数の視点で子供を見ていきます

サインを見逃さない

教員の気付き

- 黒板の文字を写す時になると手が止まってしまうのはなぜかな。
- 書くのに他の子より必要以上に時間がかかるのはどうしてだろう。

丁寧な観察

どんな時に、どんなことで困るのか、じっくり様子を見て記録してみよう!

理解と手立ての例

- 視力に問題はないだろうか。座席を前にして大きな文字で板書してみよう。
- 書く量や時間を調整し、字の形については幅をもたせてみることにしよう。



複数の専門的な視点を加えて相談します

特別支援教育コーディネーター

スクールカウンセラー

特別支援教室専門員

巡回臨床心理士

スクールソーシャルワーカー

特別支援学校

さくら学級・きこえとことばの教室・大空教室の教員

このように、心理や福祉の専門家を加えて、「いつ」「どこで」「どのような時」「どんな課題が起こるか」という視点で子供の様子を見て、子供の困り感や課題となるつまずき、困難さなどを具体的に把握することに努めています。

特に低学年では、「生活習慣が身に付いていない」「しつけがよくない」などと、本当に特別な支援を求めるサインを見逃してしまいがちです。学年が上がるにつれて極端に学習が遅れたり、友達との関係がこじれて、登校を渋ったりするようなことにもなりかねません。学校として、できるだけ早く子供の出すサインに気付くことを大切にしています。

Step 2 学校と家庭の「関係づくり」が支援体制の要です

大切なのは、子供が学校生活で感じている「困り感」や「困難さ」を解消する手立てを具体化することです。そのためには、学校での気付きと家庭での気付きや心配などを相互に交流させて、まずは、一緒に考えていく関係を作る必要があります。

学校と家庭、つまりその子供に関わる大人が「その子のために」という意識で相談し合える関係が無ければ、「困り感」や「困難さ」を改善する取組は始まりません。

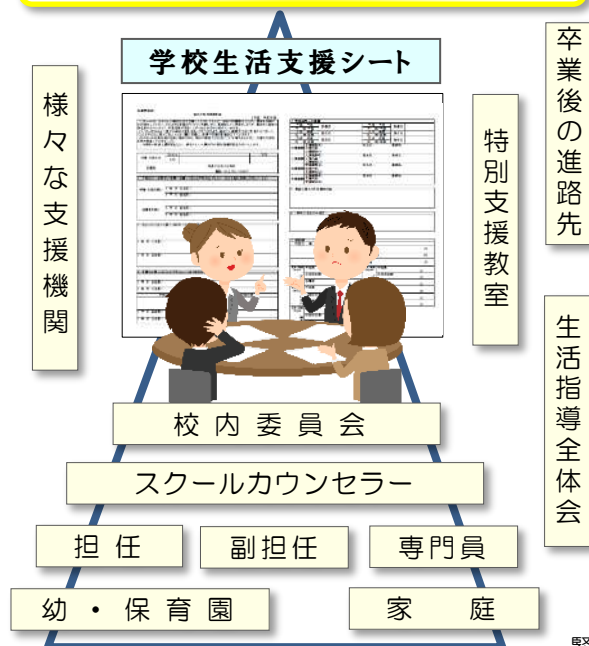
気がかりな時は

気軽に相談してみよう

いつでも

Step 3 その子に応じた教育支援を考えます

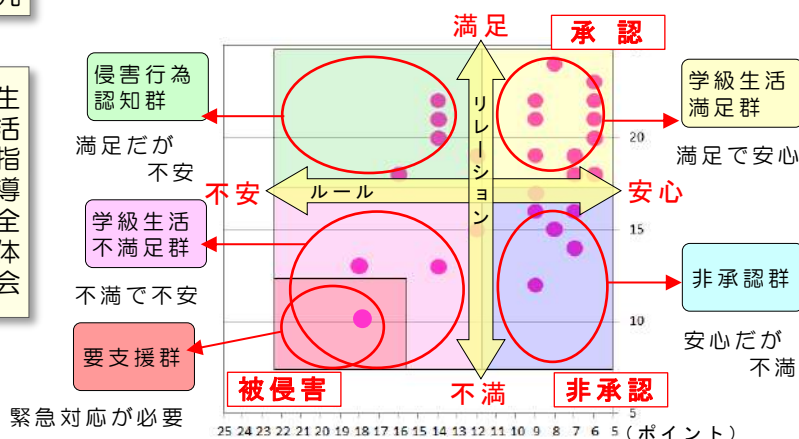
関係者が継続的に関わる支援



客観的な調査法を用いた児童理解

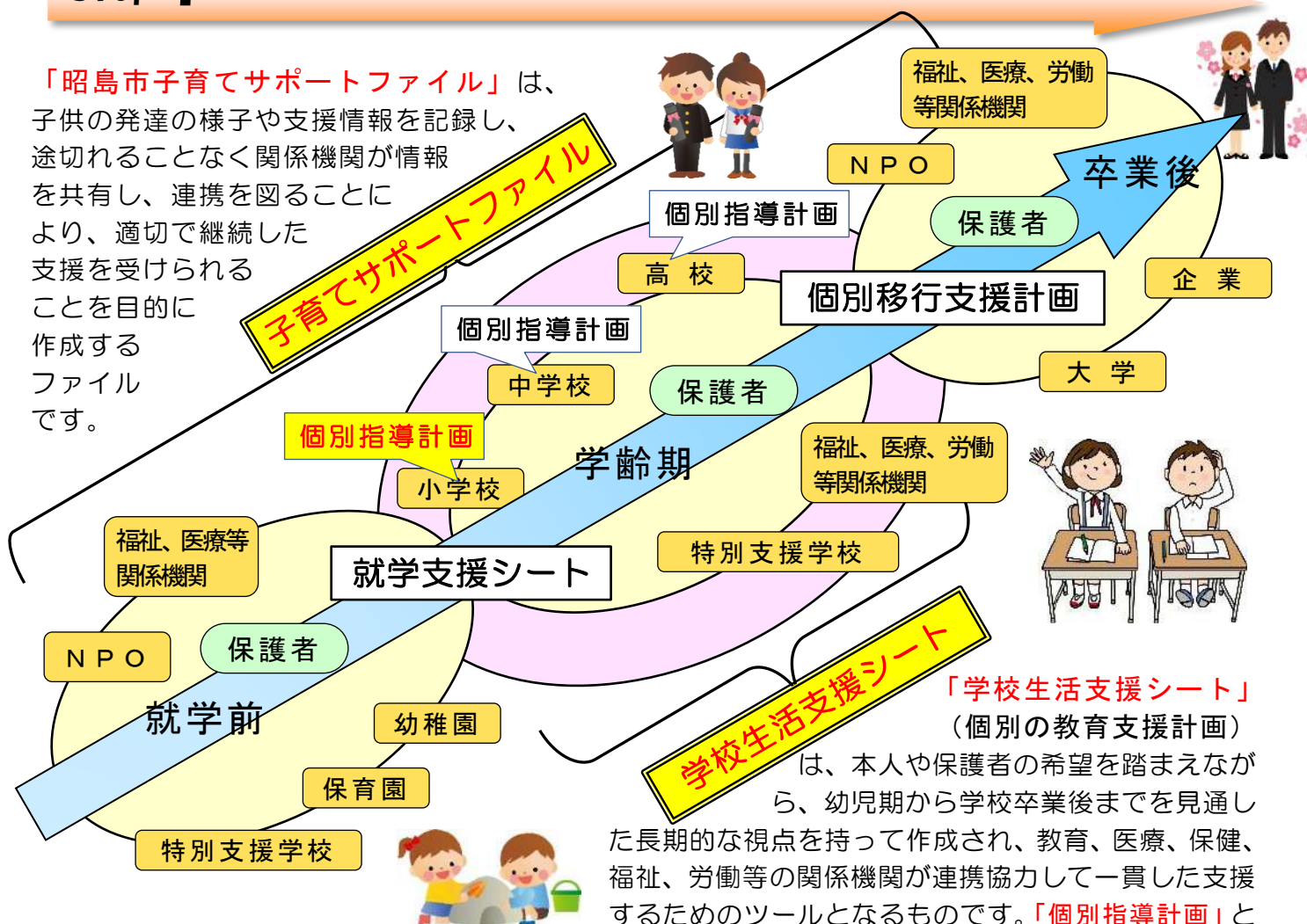
【楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-U】

「学校生活意欲」と「学級満足度」の2つの尺度で構成する学級診断アセスメントです。下図の●が児童一人一人を表します。個と集団との関係性から、児童理解を深めています。



Step 4 個別の教育支援計画 ～子供を生涯に渡って支援～

「昭島市子育てサポートファイル」は、子供の発達の様子や支援情報を記録し、途切れることなく関係機関が情報を共有し、連携を図ることで、適切で継続した支援を受けられることを目的に作成するファイルです。



「学校生活支援シート」 (個別の教育支援計画)

は、本人や保護者の希望を踏まえながら、幼児期から学校卒業後までを見通した長期的な視点を持って作成され、教育、医療、保健、福祉、労働等の関係機関が連携協力して一貫した支援するためのツールとなるものです。「個別指導計画」と同様に、保護者とともに作成し、互いに共有します。

5月の生活目標 「廊下は右側を静かに歩こう」

5月の保健目標 「手洗いうがいをしっかりしましょう」

<5月の行事予定>

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
月曜の朝は 「全校朝会」	火曜の朝は 「コグトレ」	水曜の朝は 「児童集会」	木曜の朝は 「短作文」	金曜の放課後は 「ふじみ寺子屋」		1
2 安全指導 離任式	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 ふじみ寺子屋	午前授業 7 学校公開 交通安全教室	8
9 校長講話 色覚検査(4年希望者)	10 尿検査(二次)	11 特別時程 尿検査(予備) 定時退勤日	12 遠足(1・2年) SC全員面談(5年)	13 尿検査(予備日) ふじみ寺子屋	14	15
16 避難訓練 集団下校訓練 個人面談始(さ)	17 学力向上を図るための調査(6年)	18 PTA 会費集金 セーフティ教室 定時退勤日	19 お弁当の日 学級満足度調査(3~6年) SC全員面談(5年)	20 移動教室事前健診(6年) ハケ岳移動教室説明会(5年) ふじみ寺子屋	21	22 日光移動教室(6年)
23 日光移動教室(6年)	24 日光移動教室(6年)	25 6年振替休業日 定時退勤日	26	27 歯科検診(全校) ふじみ寺子屋 個人面談終(さ)	28	29
30 校長講話	31	1 学力向上を図るための調査(5年) 定時退勤日	2 SC全員面談(5年)	3 ふじみ寺子屋	4	5

※新型コロナウイルス感染防止の観点から、予定が変更になることがございます。メールやホームページでお伝えしますので、ご確認よろしくお願いいたします。

離任された先生方からの言葉

養護 先生より

富士見丘小学校で7年間お世話になりました。皆さんが、新しいことに挑戦する姿、けがや病気を克服していく姿、苦しみながらも自分を見つめる姿、身長が伸びて大喜びする姿、様々な場面が思い出されます。

保健室で皆さんとお話した時間は、私の宝物です。保護者の皆様には、お子様のことをたくさん教えていただき、ありがとうございました。ご家族皆様の健康を心よりお祈り申し上げます。

きこえとことば 先生より

富士見丘小学校のきこえとことばの教室で、6年間お世話になりました。毎年、美しい桜の木々の下を元気に登校してくる児童のみなさんの姿を見るのがとても好きでした。きこえとことばの教室に通っていたみなさんや、通っていないけれど関わる事ができたみなさんと楽しく学習することができたこの6年間は私にとってかけがえのない財産となりました。新しい学校でも富士見丘小学校のみなさんの成長を心から願っています。

さくら 先生より

富士見丘小学校に着任してから3年間、保護者の皆様、地域の方々に大変お世話になりました。昭島市初めての情緒固定学級の開設もあり、特別支援の理解がある地域であったのだと改めて感じております。

素直で人懐っこい子供たちに囲まれた3年間は私にとって大切な宝物となりました。これからも「やるべき時にはやる」子供たちであってほしいと思います。今までありがとうございました。